

九州・沖縄地区の1月生コン出荷量（全生連九州地区本部）

前年同月比6.9%減、佐賀県は15.2%増

全国生コンクリート工業組合連合会九州地区本部がまとめた7年度月別・地区別出荷実績によると、1月度は九州・沖縄地区（宮崎県を除く）で前年同月比6.9%減の合計5万8千5百41m³。

1月度の県別内訳は、「福岡県」が前年同月比1.3%増の1万9千6百84m³、「佐賀県」同15.2%増の2万3千258m³、「長崎県」同12.9%減の4万7千695m³、「熊本県」同17.2%減の8万6千139m³、「大分県」3.5%減の6万3千498m³、「鹿児島県」同13.5%減の7万7千444m³、「沖縄県」同10.2%減の9万7千235m³。福岡県、佐賀県が増加している。

7年度累計では、「福岡県」が前年度比3.5%減の22万1千308m³、「佐賀県」同4.8%減の25万9千214m³、「長崎県」同12.9%減の53万9千456m³、「熊本県」同16%減の97万6千362m³、「大分県」4.4%減の63万4千357m³、「鹿児島県」同14.8%減の75万4千948m³、「沖縄県」同6.6%減の10万8千942m³。九州6県と沖縄すべて昨年より減少した。が好調に推移している。